

# 株式市場新聞

www.marketpress.jp

1 第383号

日経平均株価

4万0912円37銭

▼1円28銭(前日比)

TOPIX

2884.18

▼14.29(前日比)

2024

7/8

月曜日

発行元 株式会社 株式市場新聞社

〒541-0058

大阪府中央区南久宝寺町3丁目2-7

TEL 06-6105-1904



## 新NISAと夏の消費

### ボーナス増で狙える銘柄は？

7月に入り夏のボーナスシーズンに突入した。コロナ禍では減少し節約の動きになっていたが、一般財団法人労務行政研究所が行った東証プライム上場企業114社からの集計では、全産業平均で今年夏のボーナス増額は前年同期比4・6%増の84万6021円と3年連続増加かつ初の80万円台乗せが試算されている。所得増は物価高からある程度は生活費に充当されるが消費や投資増につながる可能性も高い。そこで消費関連をピックアップしてみた。

### 国内旅行や五輪で家電も

NISA Aへの資金流

東証プライム上場企業でボーナスは増えていることに加えて、コスト増からボーナス増を行えない中小でも平均時給自体が全体で増加している。これらにより今年夏は生活費以外の消費が増加する可能性が高い。まず収入増で期待できるのが運用資金の充ちから新

#### 投資と消費にどれだけ使う？

入。プライム市場での高配当銘柄ではMIRARTHホールディングス(8897)やメイテックグールプホールディングス(9744)などが上位になるが、知名度や投資金額からNTT(9432)などへの資金流入も期待される。一方、夏の消費という面では国内旅行の需要を喚起する可能性もあり、国内旅

日経平均の日足チャート



行大手のKNTIC Tホールディングス(9726)やJR東日本(9020)、JR東海(9022)、JR西日本(9021)、JR九州(9142)のJR4社やテーマパークで東京デジニールランド・シ運営のオリエンタルランド(4661)の来場者増も期待できそう。加えて今年夏はパリオリンピックということもあり、家電需要を喚起する可能性もある。コジマ(7513)、ビッグカメラ(3048)、上新電気(8173)はエアコンの買い替え需要を含めて注目されよう。外出の機会が増えればファーストリテイリング(9983)などアパレルの販売も増加しよう。

6月第4週の動意銘柄

# クオリップスがS安

## 細胞シート申請時期変更嫌気

週明け24日、クオリップス(4894)がストップ安。iPS細胞由来の細胞シート治療の長期開発期間における活用の発表が嫌気された。条件と期限付承認を指し、承認申請時期を早く今年6月、遅くと



も年内としていたが、重症度の高い心不全患者の病態を踏まえ、極力、長期間のデータを基に承認申請資料を作成することが適切な評価と承認を得られる可能性が高いと判断、申請時期を年内に変更した。

### メデイア工房資金流入継続

メデイア工房(3815)が4連騰。19日に株主優待制

### KADOKAWA急反落

KADOKAWA(9468)が急反落。一部報道機関が同社グループへのランサ

## サンバイオ出荷可能と説明

25日、サンバイオ(4592)が連続ストップ高。再生医療等製品「アクーゴ脳内移植用注」についての一部報道に対する続報で、製造と規格試験に加え追加データと同様の特性解析を行い、承認事項一部変更承認取得後に出荷が可能になると説明したことが引き続き好感された。アクーゴは厚

生労働省に条件及び期限付きでの製造販売承認された一方、改めてデータの提出を求められ出荷認可が見送りとされたとの報道を受け失望売りに値を崩していた。

### 半導体関連下げ目立つ

ディスコ(6146)やレーザークリック(6920)など半導体関連の下げが目立

ムウェアを含むサイバー攻撃に関して犯人と名乗る人物のメッセージを掲載した件について、犯罪者を利するような、かつ社会全体へのサイバー攻撃を助長させかねない報道を行うメデイアに対して強く抗議をするとともに、損害賠償を含めた法的措置の検討を進めていると表明したことが嫌気された。

### ポストプライム3日連続S高

Post Prime(198A)が東証グロース市場に新規上場のと3日連続ストップ高。お金にまつわる情報交換コミュニティ「Prime」を運営、高橋ダニエル圭

た。米国市場でエヌビディアが6%超安と大幅3日続落、SOX指数も3%超の大幅安になり、利益確定売りの流れが波及。

社長は投資家YouTube Tube r高橋ダンとして知られ、8万円台で購入できる株価も人気を誘った。

26日、ライフネット生命保険(7157)が大幅高で最高値。投資運用業の

## 正直いいさんの株で大判小判

前週の東京市場は大幅に続伸しました。日経平均は前の週から1329円上昇し3月に付けた最高値を更新、TOPIXも3年半ぶりに最高値を更新しています。ハイテク・グロースとバリュ、主力大強い動きでOPIXがことで、日せから4万面がありま急ピッチ加え、週明F分配金ねん出生することが上生する。ただ、足も押せば乗り遅れの仕込み場柄について日立(6501)や三菱重(7011)など高値銘柄をいったん利益確定しました。週明けの動きを確認したうえで仕切り直しです。花咲翁

### 下押せば格好の仕込み場

の上昇と目標達成感にけ8日と10日にETTの売りの需要が値を抑えると考えられとの地合いは強く、下た投資家にとって格好るとでしょう。推奨銘柄



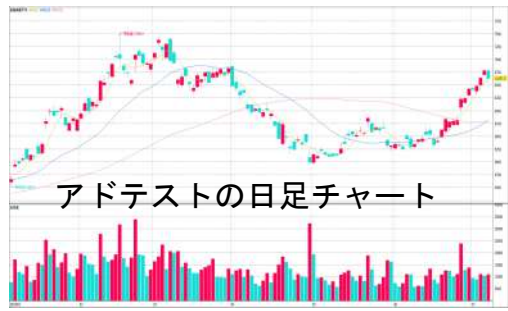


# アドテスト大幅続伸

## 最終益1470億円目指す

26日、アドバンテスト(6857)が大幅続伸。27年3月期を最終年度とする中期計画を好感された。3カ年平均値をで売上高5600億円(24年3月期実績4879億円)、最終利益930億円(1470億円)を目指す。累計6000億円以上の営業キャッシュ・フローを成長投資に振り向け、株主還元は年300円配

**ブックオフ決算発表延期**  
ブックオフグループホールディングス(9278)が急落。



アドテストの日足チャート

## 東洋証は株主総会波乱

27日、東洋証券(8614)が急落。株主総会を以て会社が提案する予定だった取締役8人を選任する議案のうち、桑原哲社長の再任案を撤回、桑原理哲社長の後任に小川憲洋執行役員が就任したものの、先行きへの不安が高まった。同社を巡ってはBe BraveやUGSアセットマネジメントが株主提案を視野に買い増してきた経緯がある。

**公開価格1.4%上回る**

豆蔵デジタルの初値  
豆蔵デジタルホールディングス(202A)が東証グロース市場に新規上場、公開価格1330円を1.4%上回る1348円で初値が生まれた。企業のデジタルシフトを実現し、顧客とともにデジタル競争力を高めるためのクラウドコンサルティング、AIコンサルティング、AIロボティクス・エンジニアリング、モバイル・オートメーションサービスを行う。

7月16日に予定していた24年5月期決算を延期すると発表した。子会社が運営する複数店舗で従業員による架空買い取り、在庫の不適切な計上と現金の不正取得の可能性があることが発覚したため、独立した外部専門家による特別調査委員会を設置している。

松井証券

今こそ始めるデイトレード

## 松井証券の一日信用取引

手数料0円 金利・貸株料0~1.8%

取引コスト

プレミアム空売り

独自サービス

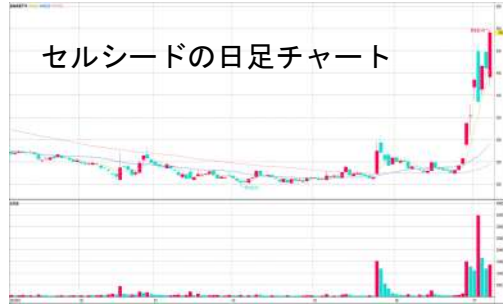
最短3分でお申込み完了!

【無料】新規口座開設はこちら

marketpress.jpのバナーをクリック

# セルシードがS高

## 再生医療の出遅れで資金流入



セルシード（77）が再生医療等製品「アーク」の移植用「期待」からの注目を交えてストップ高を交えて連日急伸していることから、細胞加工受託と再生医療開発が主力で、細胞シート再生医療事業において同種軟骨細胞シートの開発を推進して

27日、セルシード（77）が再生医療等製品「アーク」の移植用「期待」からの注目を交えてストップ高を交えて連日急伸していることから、細胞加工受託と再生医療開発が主力で、細胞シート再生医療事業において同種軟骨細胞シートの開発を推進して

いる同社株には再生医療関連の出遅れと

# YEデジタル82%増益

週末28日、YE DIGITAL（2354）が4連騰。25年2月期の第1四半期決算は、連結営業利益で前年同期比82.4%増の3億2600万円となった。健康保険者向けシステム構築などが増加した。

## 銚子丸は一転大幅減益

銚子丸（3075）が急落。25年5月期は営業利益27.0%減の12億40

0万円と前期の大幅増益から一転して大幅な減益を見込んだ。

## 公開価格と同値

ログスHDの初値ログスホールディングス（205A）が東証グロース市場に新規上場、公開価格2290円と同値で初値を付けた。同社はデジタルマーケティング集客とDXによる効率的なオペレーションを活用した注文住宅事業を行う。

期限までに提出できない見込みと発表、東証が同社株を監視銘柄（確認中）に指定したことを受け、手じまい売りが殺到した。EV充電事業SPCの不正会計処理に対する外部調査委員会の報告書や減損

# エネチェンジ 監理銘柄指定

エネチェンジ（169）がストップ高。3年12月期の有価証券報告書を提出

# 7月第1週の動意銘柄

判定、財務報告が遅れているため、期限の7月10日までに報告書を提出できなかったら上場廃止となる。

ペルセウス第1相試験終了  
オミクス（4882）

ペルセウスプロテ

相試験が終了したと

大連（9363）が急伸。発行済み株式の21.69%にあたる120万株、3億円を上限とする自己株取得枠の設定を発表した。大規模自社株買いによる株価浮揚効果を期待した買いが向かった。

発表した。今回の治療の目的は赤血球が異常に増える疾患であるPVの患者6名を対象に、PPMX

最後の6例目の患者への投与後の経過観察が終了する7月末に終了する見込みだったが、患者本人の意向により、この方の試験は中止となった。報告は受けていないという。

## TOPIX史上最高値更新

今週の東京株式市場は続伸し、日経平均、TOPIXともに史上最高値を更新しました。特に好材料があった訳ではありませんが、6月最終週に6週ぶりに買い越しに転じた海外勢が先週もインデックス型で買い越したものと思われます。特筆すべきはTOPIXが約35年ぶりに最高値を更新したことであり、これは本当の意味でのバブル期超えと言えます。

2月22日に日経平均がバブル高値を超えた時は、そこからピタリ1カ月間上値追いやりとなりました。今回も同様の動きがあるとすれば8月上旬までサマーラリーが展開されるのかもしれませんが。海外勢が気にするアストロロジーでは8月5日～29日に水星の逆行現象が起きます。前回4月2日～25日の逆行期間は急激に崩れました。8月5日近辺まで株価が上げるなら、その時期には一旦利入れが必要でしょう。

日々勇太郎



# 転ばぬ先のテクニカル



# リグア連続ストップ高

## TBMとの業務提携を好感

1日、リグア（7090）が前週末に続いてストップ高まで買われた。環境配慮型の素材開発などを手がけるTBMと業務提携すると発表したことが引き続き好感された。同グループの成長の軸である「IFMC」とTBM開発の環境配慮型素材「LIMEX」を組み合わせ



# マリーゴールド見頃に

## ハリマ化成G

### 鮮やかなオレンジ色11月頃まで



加古川製造所のマリーゴールド園

ハリマ化成グループ（410）子会社のハリマ化成加古川製造所（加古川市野町）のマリーゴールド園が今年も見頃を迎えた。マリーゴールド園は地域交流の場として、加古川製造所ではマリーゴールドを鑑賞する人のために正門前の駐車場を開放している。

ハリマ化成グループ（410）子会社のハリマ化成加古川製造所（加古川市野町）のマリーゴールド園が今年も見頃を迎えた。マリーゴールド園は地域交流の場として、加古川製造所ではマリーゴールドを鑑賞する人のために正門前の駐車場を開放している。

# 海運は上昇率トップ

2日、川崎汽船（9107）が値を飛ばし年初来高値を更新したほか、日本郵船（9101）や商船三井（9104）も大幅高に買われ、海運セクターが東証上場33業種中上昇率トップに立った。バリュー株物色の流れが強まるなか、足もとで

コンテナ船市況が急速に上昇、鉄鉱石や石炭、穀物などを運ぶばら積み船の総合市況のバルチック海運指数も2000の大口を回復から2100に乗せ、円安進行もドル建て決済の海運各社には収益押し上げ要因で、業績上振れへ期待が高まった。

## 金融株国債利率引上げ

三菱UFJフィナンシャル・グループ

値な製品開発に取り組みとともに、国内だけでなく海外の需要も見据えたグローバルな展開を推進する。

## 震ケ関C営業益3.5倍

3日、震ケ関キャピタル（3498）が急反発、ストップ高まで買われた。同社は2日の取引終了後、24年8月期の第3四半期累計（9月～5月）決算を発表、連結営業利益が前年同期比3.5倍の36億6300万円となった。

と報じたことを受け、金利上昇による利ザヤ拡大を期待した買いが広がった。表面利率が1%台をつけるのは2012年4

ホテル関連市場においては、同グループでは観光立国の実現や地域創生への貢献を目的に多人数向けホテルの開発に取り組んでいる。

いた新規医薬品の研究・開発を行う。

東証グロース市場に新規上場、公開価格450円を8.7%上回る489円で初値が生まれ、その後はストップ高となる569円まで買われた。同社は独自の創薬基盤（Peptide technology）を用いた新規医薬品の研究・開発を行う。

## 公開価格8.7%上回る

PRISM Bioの初値

月以来、約12年ぶり。日銀の政策修正観測を背景にした国債利回りの上昇を反映し、日銀が13年4月に異次元緩和に着手する前の水準になったとしている。

# 先駆銘柄一旦利食い

見込まれる自動車はスバルが大きい

先週の日経平均は一気に4万1000円台まで買われました。AI関連銘柄が引き続きけん引する格好で、それに情報・通信、精密が加わり、更に、4日には自動車が増え、貢献しました。金融は証券が買われま

# これでどや!!

## 高野恭壽の株式情報



株式市場新聞の名物コーナーが復活!

均して4万1000円まで抵抗なく上げてきました。3月高値の4万1087円高値に接近したことで戻り待ちの売りも出てきており、先駆銘柄は一服する可能性が高く、そうした銘柄は利益確定するべきでしょう。円安による業

## 7 & i HD 好決算期待

7 & i HD(382)は11日に決算発表を予定しています。7 & i HDは11日に決算発表を予定しています。7 & i HDは11日に決算発表を予定しています。

7 & i HD(382)は11日に決算発表を予定しています。7 & i HDは11日に決算発表を予定しています。7 & i HDは11日に決算発表を予定しています。

高野恭壽(たかのやすひさ)氏 株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家へ。講演会のほかラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに出演。「株式投資30カ条」など著書も。公式ホームページ <https://marketpress.jp/kabu-takano/>

# 防衛関連上昇目立つ

## コード決済ゲートウェイに採用

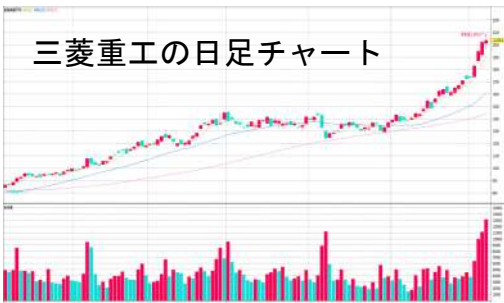
3日、三菱重工業(7011)が8連騰で新値追いつた。たほか、IHI(7013)や川崎重工業(7012)など防衛関連銘柄の上昇が目立った。日本政府は防衛費を大幅に積み増す意向にあるが、米大統領選は同盟国に防衛費拡大を促す政策スタンスのトランプ氏が有利との見方が強まったことで、防衛省との取引に実績のある各社にはビジネスチャンス拡大

への思惑から資金が向かった。

## 電子部品アップル関連報道

太陽誘電(6976)が急伸したほか、村田製作所(6981)やTDK(6762)など電子部品株の一角が大幅高。海外報道で米アップルがオープンAI取締役会にオプザイバ

ルがオープンAI取締役会にオプザイバの支援者で主要AI技術提供者のマイクロソフトと肩を並べることになるとして、ビジネスチャンス拡大の思惑からアップルのサプライヤーに買いが向かった。太陽誘電については外資系証券が目録株価を引き上げた。



# 非鉄金属上昇率トップ

9%上昇、金も1.5%上昇と非鉄金属市況が総じて高く、利ザヤ拡大による収

4日、住友金属鉱山(5713)や三菱マテリア(5711)、三井金属鉱業(5706)が大幅高、非鉄金属セクターが上昇率トップに立った。海外市場で銅が2.0%上昇したほかニッケルは1.5%

## 川重金品提供疑惑報道

益改善を期待した買いが広がった。川崎重工業(7012)が大幅反落。各メディアが取引先企業との架空取引で裏金を捻出、海上自衛隊の潜水艦乗組員の食代を負担していた疑いがあることが分かったと報じた。不正な資金捻出は遅くとも6年前に開始し、流用額は10数億円以上になるといわれる。



# 海外事業の成長加速

## 大阪で定時株主総会を開催



### 大和ハウス工業

震災復興へグループをあげて協力する」考えを伝えたあと、監査が適正である旨を報告、事業活動を映像で紹介したうえで、「収益モデルの進化」「経営効率の向上」「経営基盤の強化」の3つの経営方針のもと第7次中期計画田精のための重点施策に取り組みとともに、株主還元は「年間配当の下限を145円に

の成長を加速して中計目標を確実に達成することで株式価値を高める」構え。米国戸建住宅は26年度に1万戸以上の販売を目標とし、人口減少とコスト上昇で環境の厳しい国内は分譲住宅でテコ入れする。政策保有株は2015年比半減したが、売却資金は成長事業に振り向ける方針。会場での質疑応答では賃貸住宅オーナーから建て替え物件のコスト高や引き渡しなどについて厳しい要望が出ていたが、カーボンニュートラルと資材高騰に対応しながら基礎部分からコストとを見直すほか、個別対応も進めることでニーズに相應の考えを伝えていた。

大和ハウス工業(1925)は6月27日、大阪市北区梅田のザ・リッツ・カールトン大阪で第85期定時株主総会を開催した。冒頭のあいさつで芳井敬一社長が「能登半島

実施する」意向を表明した。能登半島では引き渡し物件の点検を完了、珠洲市に応急仮設住宅を建設している。株価対策については「2024年問題への対応を進めるとともに、海外事業

引き上げ安定配当を



## アイズがストップ高

### バリューCと業務提携

Shinwa W  
ngs(2437)  
がストップ安まで売られた。連結子会社であるShinwa Privateにおいて、2021年5月期頃から2024年

アイズは4日、ストップ高(524)がスバリューCと業務提携(923)も一時ストップ高まで買われた。両社は業務提携すると発表した。バリューCのオウンドメディア内で発信しているマーケティング情報、読者向けに、媒体資料・マーケティング資料のダウンロードを始め、

週末5日、キューピー(2809)が連続急伸。24年11月期の業績予想について、連結売上高で4800億円から4860億円(前期比6.8%増)、営業利益で310億円から340億円(同72.6%増)へ上方修正した。市販用、業務用、海外それぞれのセグメントでの売上伸長や、それに伴う収益改善が当初想定を上回る進捗となった。

### シンワイズ不適正会計

5月期までのプライベートセールに関する不適切な会計処理により、実態と相違があることが判明したと発表したことが嫌気された。

## キューピーは上方修正

マーケティングセミナーの申込・動画視聴機能を持つアイズとで連携する。

### コクサイエレ最高値

KOKUSAI ELECTRIC(6525)が続騰、最高値を更新した。韓国サムスン電子が5日に発表した24年4〜6月期決算は、営業利益が前年同期比15倍超の10兆4000億ウォン(約1兆2100億円)と市場予想の8兆3000億ウォンを大幅に上回ったことで、韓国メーカー向けに高い実績を持つ同社にビジネスチャンス拡大を期待した買いが向かった。

# チャートから読む 騰落銘柄

## トクヤマ(4043)



4月30日に3260円高値を付けて以降、長らく調整していたが、25日線に接近した2900円台では下げ止まる動きになってきた。半導体用シリコンの世界的企業でPBR0.85倍の時価は見直し場面。

## ディスコ(6146)



6月14日に最高値6万6100を付けてからスピード調整も相場の腰は強く、25日線を下値に出直る。生成AI向けの高性能メモリ投資拡大をフォローに最高益更新が続き、青空相場を一段高へ。

## ラウンドワン(4680)



7月4日に909円の最高値を付けたあとは利益確定売りに一時、25日線水準である800円割れまでスピード調整。この水準を維持できなければ75日線の750円近辺までの調整もありそうだ。

## ニトリHD(9843)



1万7000円割れ水準で値固め進むも降下してきた25日線が上値を圧迫。円安進行による仕入れ原価上昇で収益下振れ懸念強い。押し目買いに信用買い残の整理が進まず、一段安を警戒。





増える時代になったので、日々注意せねば。気を抜くと出費が家族が代理というところで解約した。

「サブスク」と説明しても母には理解できないから、家族が代理というところで解約した。サブスクと説明しても母には理解できないから、家族が代理というところで解約した。サブスクと説明しても母には理解できないから、家族が代理というところで解約した。

## 星野三太郎の株街往来

～サブスクリプション～

「サブスク」リプション（サブスク）という言葉を意識していなかったが、商品やサービスを購入することなく、一定の期間、サービスや商品を利用できるビジネスモデルのことを指すそう。そういえば、F1や昔のアニメを視聴するために月額会員に入会していたことがあったが、仮に9000円のサービスを4件ほど加入すると当然ながら36000円になり、それなりの出費になる。塵も積もれば山となる。そんなことから無駄遣いを無くすために最近では必要ないものを解約しているのだが、母が「頼みもしないのにサブスクを買って送り付けてくる」というので、発送元に問い合わせをしたらサブスクの定期コースに加入していたのが判明した。どうやらお試して1度だけ購入しただけなのに、実際にはサブスクに加入していたということだった。サブスクと説明しても母には理解できないから、家族が代理というところで解約した。

「サブスク」



## New product

**吉野家HD** 「お中元セット」販売中  
公式通販ショップとECモールで



吉野家ホールディングス（9861）は8月21日10時まで、「吉野家公式通販ショップ」とECモール店舗で「お中元セット」を販売している。

「お中元セット」は「冷凍牛丼の具」や夏季限定商品「冷凍うなぎ蒲焼き」などの人気商品のほか、吉野家の全国店舗で「牛丼並盛」などを提供する際に使用する丼に金色で吉野家のロゴをあしらった「吉野家金文字丼」、吉野家の丼を特別に茶碗サイズで仕立てた「吉野家茶碗」、牛丼をモチーフにした絵柄をデザインした普段使いやアウトドアでも利用できる「吉野家オリジナル保冷バッグ」などの限定グッズをラインナップ。「冷凍牛丼の具3袋+紅生姜+吉野家金文字丼（並）セット」5720円、「冷凍うなぎ蒲焼4袋セット」4860円など送料込みの値段となる。

**積水樹脂** 業界初の4分割パネル型  
24年問題対応の縦格子フェンス



積水樹脂（4212）は縦格子フェンス業界初となる4分割パネル型縦格子フェンス「テトラフェンス」を新発売した。

テトラフェンス

2024年問題と言われる働き方改革などに対応すべく2枚セットで梱包することにより小さく軽くなり運搬性を向上、従来品の「ETHY50HC」より部材点数も削減され「施工が簡単」。また、施工後の補修なども従来品より1/4ごとに対応できるため、廃棄のロスや費用も軽減できる。

梱包も簡易化でき、輸送の際、約40%積載効率が向上。さらにパネル梱包には段ボールのみを使用するなど、梱包資材を削減することにより、環境に配慮した製品となっている。

## 潮流

## 貯蓄から投資流れ止めるな!

## 円高は日本経済にはマイナス

marKet / bAnk

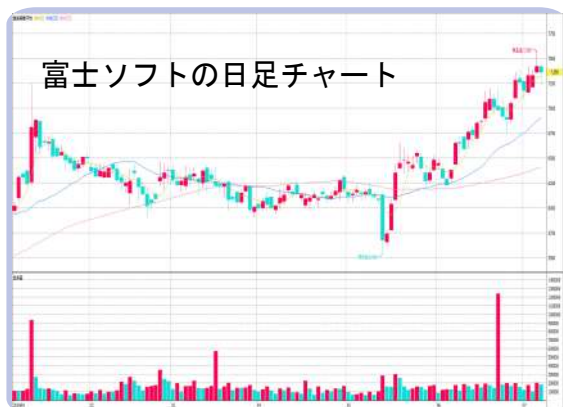


TOPIXの終値は2898.47と1989年12月18日に付けた2884.80を3年半ぶりに上回った。日経平均は4万0913円で終え、3月22日に付けた終値の過去最高値(4万0888円)を上回って過去最高値を更新した。取引時間中の最高値は4万1087円だ。

約3カ月間続いた調整が終わり、新たな上昇波動に突入する。特にこの2週間の買いは強かった。日経平均で2000円、TOPIXで200ポイント上昇、上昇率は約7%となる。銀行株など大型株のバリュー株に幅広く買いが入り指数を押し上げた。

業種別では銀行業、保険業、海運業、輸送用機器、卸売業などが上位に入った。外国人投資家は6月第4週(6月24日—6月28日)に現物株と先物合計で5964億円の買い越しだ。前週は6257億円の売り越しだったので、売っていた分を買い戻したようだ。

日本の家計の金融資産は2199兆円と過去最高。昨年末時点に比べ56兆円、1年前とでは146兆円増えた。金融資産に占める投資信託・株式の比率は01年以降で最高となった。



富士ソフトの日足チャート

これは株の上昇と1月に始まった新NISAの影響だ。新NISAは2

7月4日にTOPIX(東証株価指数)と日経平均が史上最高値となった。

024年1~3月だけで6兆円も増えている。個人投資家は配当利回りの高い銘柄を中心に買っているようだ。日本の投資家が株で資産を増やす妙味を感じている。株価の上昇が続けば、株の利益が消費拡大につな

がる。貯蓄から投資への流れがようやく根付き始めてきた。

この流れを政府と日銀は止めてはならない。米国は9月に利下げする確率が6割強、据え置きが約3割と見方が分かれる。一方、日本では日銀の次の利上げ時期を10月と予想。日銀は7月末の金融政策決定会合で、国債買入れ減額の具体的な計画を発表している。

ただ、植田日銀総裁は円安進行による物価上振れが無視できなくなれば、利上げの時期は7月も可能性はあると発言している。国債の減額計画と同時の利上げを想定する市場関係者は少数だが、6月3日に1ドル=161円95銭まで進んだ円安がさらに進むと利上げが現実味を帯びてくる。まだ日本は利上げを行う時期ではない。円高は日本経済にはマイナスとなる。

潮流銘柄は富士ソフト(9749)、日立(6501)、日機装(6376)。



岡山 憲史氏(株式会社マーケットバンク 代表取締役)のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第1回S1グランプリ」にて1万人超の参加者の中から優勝。2002年

にNHK番組「経済最前線」にて独自の投資支援システムが紹介された。直近では2024年3月の夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」で優勝。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp

## 家計の金融資産過去最高





敏腕先物ディーラー

# ハチロクの裏話

ハチロクのプロフィール  
証券アナリストから証券会社の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。

約1329円高となり、4週連続で週足陽線となり史上最高値を更新した。前週に戻り高値を更新したTOPIXも1989年に付けた高値を34年7カ月振り更新し史上最高値を付けた。

## 調整の一方意外高の可能性

# 新しいステージの始まりか？

だが、1カ月に1兆円とも言われる自社株買いや新NISAによる個人投資家の買いの影響もある。日経平均だけでなくTOPIXもバブル後の史上最高値を更新してきたという事は、市場が新しいステージに入ってきたと思える。だが、ここ3週間で約3000円上昇しており、過熱感も出始めている。高値更新したことで達成感もあり、今週は調整局面を迎える可能性もある。一方で年初から3月の高値を付けるまではいつもSQ週に大幅に上昇してきている。コールの売りのヘッジ買いを誘発する戦略である。指数が高値圏で推移する場合、資金効率が高くヘッジファンドが好む仕掛けである。



新しいステージへ



今週は8日と10日にETFの分配金捻出の為に売りと買われたい。

今週のレンジは4万0100円〜4万1500円を想定する。(ハチロク)

るので、買い仕掛けはやりにくいとは思われるが、意外高の可能性は十分あるのでコールの出来高には注目したい。チャート的には5日移動平均線(4万0422円)を下回るまでは押し目買いが優位となる。上値メドとしてはボリンジャーバンドの+3σ(4万1399円)や節目の4万1500円が挙げられよう。下値メドとしては4万0500円、5日移動平均線、一目均衡表の転換線、上昇時に付けた窓埋め(4万0113円48銭)が挙げられよう。





記者の視点

# 相場見通し

## 健全な調整ほしい

### ファストリなどの決算注目

7月第1週の東京市場は4日間で5連騰となり日経平均では4万1000円に乘せる場面があり、日経平均では約3カ月半ぶり、TOPIXは3年7カ月の史上最大の上がりとなった。

3月の高値更新時には電子部品を筆頭にハイテクの上昇に偏っていたが、今回は象を受けていたが、今回は三重工業(7011)やIH1(7013)などの防衛関連やミツコシセタン(3099)や高島屋(8233)などのインバウンド関連を含めて幅広くバリューストック系が買われていることが特徴的。

12日のオプションSQを目前に控えて、強烈的な買いに4万台のコールオプションの売り建て玉が買戻しを余儀なくされ、これが更新の上昇に拍車をかける動きになった。

今週は海外ではパウエルFRB議長が米議会上院の聴取に出席し、米議会下院金融サービス委員会で証言を行う見通しで、11日に米6月消費者物価指数。国内では8日に6月景気ウォッチャー調査、10日に6月国内企業物価指数などの発表を控える。決算では11日日にファーストリテイリング(9983)とセブン&アイ・ホールディングス(3382)などが控えるが、好調な内容となれば国内の消費拡大という意味で全般相場にもプラスに働く。

フランスなど欧州の議会選挙の影響も気になるが、いずれにしても急ピッチな上昇から健全なる調整を待ちたい。

編集後記

TOPIXが34年半ぶりに史上最高値を更新した。2月に日経平均が高値を抜いた際はAI向け需要期待から人気が集めた半導体関連に偏った物色だったが、今回は日銀の追加利上げを意識した金融株を中心に幅広い業種に買いが広がったことによるもの、本場の意味での最高値更新と言えるだろう。東証の資本効率改革要請への期待や企業価値向上に資する株主提案なら受け入れられる素地が整いつつあることも背景にあると見られている。

上場企業全体に意識改革が浸透することが望まれる。

高値を更新した。数週間前までは弱気な見方が蔓延していたが、3月の高値更新後に利益確定売りなどを断続的に行っていた海外投資家が再度、日本株について買い回換したことが言われており、6月日銀短観での大企業製造業の業況判断DI改善を受けて、個人投資家や機関投資家などを含め幅広い投資家による買いが上昇に拍車をかけたと言われている。



## 当面のスケジュール

- 7日 東京都知事選挙開票日  
仏国民議会(下院)総選挙決選投票
- 8日 5月毎月勤労統計調査  
6月景気ウォッチャー調査  
米5月消費者信用残高
- 9日 6月マネーストック  
パウエルFRB議長、米議会上院の銀行委員会  
で金融政策に関する半期に一度の証言
- 10日 6月国内企業物価指数  
中国6月生産者物価指数、中国6月消費者物価指数  
パウエルFRB議長、米議会下院金融サービス委員会で証言
- 11日 5月機械受注  
米6月消費者物価指数  
米6月財政収支  
トランプ前大統領の判決(先般、NY陪審団による有罪決議の法廷判決)
- 12日 日銀「生活意識に関するアンケート調査」の結果  
オプションSQ  
中国6月貿易収支  
米6月生産者物価指数  
米7月ミシガン大学消費者マインド指数

【ご注意】株式市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。